

加美農業高等学校

校訓 耕心



1 基本データ

創立：明治33年
課程・学科：全日制課程・農業科、農業機械科、生活技術科
生徒数：140名
所在地：〒981-4111
加美郡色麻町黒沢字北條 152
TEL：0229-65-3900
FAX：0229-65-3901

ホームページアドレス：
<https://kamino-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
kamino-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関
◆宮城交通バス「色麻町役場前」より車で約10分
◆JR陸羽東線 西古川駅より車で約20分

2 学校の特徴

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は明治33年に設立、明治34年に現在の宮城県中新田高等学校の地で開校し、今年度に創立124年を迎える伝統ある高校です。全国に数ある農業高校の中で、昭和39年に、文部省より第1号農業自営者養成高等学校(パイロットスクール)指定の内示を受け、昭和40年に発足しました。昭和48年には普通科を宮城県中新田高等学校として分離独立させ、農業専門の高校として色麻町に移転し現在に至っています。

専門教育においては、教育環境や教育設備に恵まれ、コンピュータや自動制御技術、そしてバイオ技術など、最先端技術を積極的に取り入れた教育を行っています。

東京ドーム17個分の広大なキャンパスは、全国第2位の広さを誇っており、自然に恵まれ、落ち着いた環境で高校生活を送ることができます。

また、本校の大きな特色に寮教育があります。1年生は必ず体験入寮を経験しますが、遠隔地通学生などの中で希望する生徒は3年間の入寮が可能です。耕心寮は平成7年に新築され、明るく近代的な設備を有し、年間を通じて70人程の生徒が在寮しています。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送っています。

(2) 教育方針

<校訓>

『耕心』

それは飽くなき文化への

憧れと創造を意味する

それは豊かな人間性の開発を意味する

それは強い意志の鍛錬を意味する

そしてそれは人生への日々新たな

希望と喜びとの指標でもある

<教育目標>

- ① 高い志を持ち、自ら意欲的に学ぶ生徒の育成
- ② 情操豊かで、心身ともに健全な品格ある生徒の育成
- ③ 社会性を身につけ、地域を支える人材の育成

(3) 教育課程の特徴

農業科は、農業生産や流通・環境や情報に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業の経営者及びこれらに関する業務の技術者として必要な能力・態度を育成します。

農業機械科では、農業機械の学習をとおして整備並びに機械加工の知識と技術を習得させ、農業をはじめとする地域産業の発展を技術者として支える人材を育成します。

生活技術科は、農業生産と家庭経営に興味・関心を持ち、心豊かな生活を実践し、地域で活躍できる能力や態度を育成します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な学校行事として、校内意見発表会、全校田植え、収穫感謝の会、加美農祭、農業学習発表会、修学旅行(2学年)があります。また、韓国の水原農生命科学高校との交流を積極的に展開し、隔年で訪問と招請を続け、深い友情を育み、異文化について学んでいます。

部活動は、各部とも地区大会や県総体、各種大会での上位入賞を目指し熱心に練習を重ねています。特に相撲部は、これまでに県総体団体戦で16回の優勝を果たし、インターハイや国体など全国大会に出場しています。昨年度は県総体で団体戦第2位、体重別個人戦80kg級・100kgで第1位。県新人大会においては、団体戦第1位、体重別個人戦80kg級・100kgで第1位となり、東北大会、インターハイ、国体の上位大会に出場しました。

生徒会活動では、学校行事の企画運営や挨拶運動、募金活動等に積極的に取り組んでいます。中学生対象のオープンキャンパスでは、生徒会が中心となって学校紹介イベントや学校案内を行っています。また、近年では毎年2月に加美町で開催される「うめがすと鍋まつり」に参加しており、相撲部直伝の塩ちゃんこ鍋は行列ができるほどの人気です。様々なメディアにも取り上げられ、校内外で幅広く活躍しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
大学	2	6	4
短期大学	0	1	0
専各学校	6	9	11
就職(県内)	24	35	46
就職(県外)	4	12	12
その他	3	4	1
卒業生計	39	67	74

主な進路先(令和6年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

<私立大学>

酪農学園大学、富士大学

<専修各種学校>

宮城県農業大学校(2)、山形県立農林大学校、宮城県大崎高等技術専門校、仙台医療福祉専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校

<就職>

J A全農ラドファ(株)、みちのくミルク(株)、(株)やくらいフーズ(2)、加美電子工業(株)、日東電工(株)東北事業所、アスカカンパニー(株)東北工場、佐々木発條(株)中新田工場、尾西食品(株)宮城工場、アルプスアルパイン(株)仙台開発センター(古川)、トヨタ紡織東北(株)宮城工場、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場(2)、プライムアース EV エナジー(株)宮城工場、(株)原田伸銅所宮城工場、(株)オイデック、宮城県農業共済組合、玉川電器(株)宮城工場、白石食品工業(株)仙台工場、日本ファインセラミックス(株)、(株)ワイ・デー・ケー、THKインテックス(株)、キョーユー(株)、(有)石山工業、ナンカイ工業(株)、(有)加賀自動車整備工場、(有)堀越モータース、日野自動車(株)新田工場、陸上自衛隊一般曹候補生(3)

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

本校生徒の活躍は多岐にわたり、高校生が先生になり、命の大切さや搾乳体験を小学生に学んでもらうモーモースクールや全国都市緑化仙台フェアへの出展、マイクラフトを利用した授業や近隣小中学校との連携授業に取り組んでいます。



手作り自動車省燃費競技大会では、手作り自動車を製作し、エンジンのセッティングや効率の良い運転方法などを研究して、大学や専門学校も参加する中、上位入賞を果たしています。また、アグリテック甲子園2023では色麻町と連携した箱屍の開発による獣害対策の取り組みが評価され、最優秀賞とテクノロジー賞をダブル受賞しました。



その他、社会福祉協議会と連携した各種ボランティア活動や、食材王国みやぎで開催している高校生地産地消お弁当コンテストに参加し、お弁当の開発にも取り組んでいます。



(2) 学校行事

《全校田植え》

それぞれのクラスが、自分たちの持ち味を発揮しながら田植えを行います。速さだけではなく、植え方のきれいさ、クラスのみとまりなどを総合的に判断し、審査が行われ順位がつけられます。



令和5年度は生活技術科の3年生が第1位となりました。少ない人数ながら全員で力を合わせて準備を行い、一通り植え終わった後にしっかり手直したところが勝利のポイントでした。

《文化祭》

令和5年度は、「Enjoy 加美農～今しか出来ない青春を最高の仲間と農業とともに～」というテーマのもと、一般公開が開催されました。



今年度は、令和6年10月25日(金)、26日(土)の2日間加美農祭が開催されます。26日(土)の一般公開日には、リンゴやネギ、米や花などの農産物販売、鍋祭りで500人の行列をつくる相撲部塩ちゃんこ鍋の模擬店などを企画しております。ぜひご来場ください！

《収穫感謝の会》

令和5年度はコロナによる制限を設けず、おにぎりや芋煮の調理、レクリエーションを行いました。



火起こしから始まり、自分たちでつくった米や野菜を丁寧に調理し、生徒・教職員みんなで収穫物に感謝しながら食べました。全員で同じものを食べることの喜びと農業という職業がとても大事であるということを再確認した行事となりました。

(3) 韓国交流

平成3年6月に水原農生命科学高校と姉妹校の締結を行い、その後、隔年で訪問と招待を行っています。長年、有意義な交流を続けており、両校のみならず日韓両国の親善と友好の関係を深めています。



今年度は、久しぶりに対面での交流ができるように計画を練っています。

(4) 寮紹介

本校の大きな特色の一つとして寮教育があります。各学科の1年生は1カ月程度の体験入寮があり、遠隔地通学の理由などで希望する生徒は3年間の入寮が可能です。規則正しい寮生活の中で、互いに切磋琢磨し、基本的な生活習慣や自主性、協調性を培いながら、楽しく和やかな寮生活を送りましょう。



寮生会長(泉 海偉さん 岩出山中出身)

耕心寮には、他の高校で体験できないような生活が待っています。寮生活では、学校生活以上に他学年の生徒と多く関わり、様々なことを学ぶことができます。また、スポーツ大会や寮祭など、たくさんの行事があります。私はこのような行事で先輩や後輩との仲を深めることができました。寮は人との関わりを自分自身の成長につなげることができる場所でもあります。加美農高校の耕心寮で学び、成長してほしいと思います。

(5) 学校制服紹介

男子はストライプのボタンダウンのシャツに濃紺のブレザーとズボン、女子は白のシャツに濃紺のブレザー。紺と白のタータンチェックのスカートがポイント。また、女子用はスラックスやネクタイも選択できます。



4 在校生からのメッセージ

農業科(伊藤 耀生さん 宮崎中出身)

農業科では、作物・野菜・果樹・草花・畜産・植物バイオの6つの専攻があり、1年次にローテーションで全ての部門を経験します。2年次に、その中から2つの専攻を選び、そのうち1つを課題研究として学んでいきます。農業に関する様々な分野を、幅広く専門的に学ぶことができるのが加美農高校の特色です。また、農業・食・命に関する学習や、農業高校でしか体験できない全校田植えや収穫感謝の会など、楽しい行事がたくさんあります。皆さんも、本州一の広大な敷地で自然の大切さを学んでみませんか。

農業機械科(鎌田 煌大郎さん 色麻中出身)

農業機械科では、多くの資格を取得することができます。クレーンや溶接の資格など、将来に役立つ実用的な資格が豊富にあるため、取得した資格を生かして社会で活躍する先輩方がたくさんいます。実習では、トラクターの操縦やエンジンの分解についても経験を積むことができ、機械科ならではの魅力的な学習がたくさん実施されています。進路では、先生方が個別で相談に応じてくださり、親身にサポートしてくれるので心強いです。様々な実習を通し、自分の進路実現に向けて励んでみてください。

生活技術科(佐藤 愛香さん 古川西中出身)

生活技術科では、主に調理・被服・保育の分野について学び、専門的な知識や技術を身に付けます。1・2年生では基礎を勉強し、3年生では興味のある科目を専攻してより深く学ぶことができます。調理では、お弁当の献立を考えて作る食物調理検定があり、保育では、ピアノ演奏や壁面飾りを学びます。被服では、基平やジャケットを製作します。苦手なことがあっても、先生方が丁寧に指導して下さるので、楽しく安心して学ぶことができます。また、たくさんの行事があり、部活動も楽しく活動できる学校でもあります。自然豊かな加美農に入学して自分の可能性を広げてみませんか。